



出光佐三さん（出光興産創業者）と北小の関わり ～歴史のつながり～



ガソリン・石油の「出光」は多くの方がご存じの企業だと思います。実は北小は出光の創業者、石油王と呼ばれた出光佐三さんとのつながりがあったのです。

※企業のPRではありません。誤解のないように。

つながりとは・・・昭和44年毎日新聞に掲載された「出光佐三さんが療養中の大石邦子をお見舞いされた。」という記事を見た当時の北小の先生が道徳の授業で取り上げ、その感想文を出光へ送ったところ、創業者出光佐三さんが深く感激され、わざわざ北小まで向いてくれたというのです。療養中の大石さんとは、当時会津の出光に勤務されていましたが、出勤中に事故に遭い、半身不随等で闘病生活を余儀なくされていた方で、そのことを知った出光佐三さんが自らお見舞いに行ったというエピソードの話を取り上げたのでした。出光佐三さんは子どもたちの前で「道徳・真心」をテーマに講演をしてくださったり、学校にグランドピアノを寄贈していただいたり、子どもたちと手紙や録音テープで交流をしたりしたようでした。グランドピアノは残念ながら残っていませんが、記念に植えられたシュロの木や石碑は今でも北小の校門

付近にしっかりとあります。まさに、北小歴史を飾る出来事の一つです。地域の方の中には、当時のことを知る方もいるのではないのでしょうか。

実は、19日に二本松で出光興産社史・理念研究所主任研究員 金子光彦様を招いての講演会が行われました。その講演会の前、金子様が「是非北小にもいってみたい」と言うことで主催者の方と一緒においでになられたのでした。（写真左）学校に残る当時の記録や校門付近の石碑等をみていただきながらしばらくお話しをさせていただきました。



保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください（または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで）～

..... 切り取り線

